

ACTIVO 通信

第3号 2017年8月

ホンジュラス国金融包摂を通じた CCT 受給世帯の生活改善・生計向上プロジェクト

- 貧困者比率が6割以上と言われる中米ホンジュラスにおいて、自立発展的な貧困削減を目指しています。
- 現地でのプロジェクト愛称は ACTIVO です。このため、当プロジェクトの進める貧困削減モデルを、ACTIVO モデルと呼びます。これは、スペイン語のスローガンである「より良い生活のための貯蓄、金融口座、労働及び収入 (Ahorro, Cuenta financiera, Trabajo e Ingreso para la Vida Optimizada)」の頭文字をとったものです。
- スペイン語の ACTIVO には、英語のアセット(資産)とアクティブ(活動的)の両方の意味があります。この ACTIVO モデルを使うことで、最貧困層が「活動的に資産形成すること」ができるようになり、結果、外的ショック(治安流動化、自然災害、流行病等)が発生した場合でも、これに耐えることができるようになります。これにより、最貧困層は、家計・生計を安定的に維持又は強化できるようになります。
- ACTIVO モデルでは、最貧困層の家計管理、金融利用、生計向上活動(生業ビジネス等)を整合的に強化します。

ACTIVO モデルのパイロット活動完了

約1千世帯に対するパイロット活動を終わりました!!

プロジェクト対象5市において、最貧困層向けの貧困削減パイロット活動(ACTIVO モデル試行適用)が完了しました。このパイロット活動の概要は以下の通りでした。

- パイロット活動期間は2016年4月～2017年5月でした。
- ACTIVO モデル(本プロジェクト推進の貧困削減モデル)に則り、パイロット1千世帯のうち、983世帯が研修に参加し、800世帯がコーチングを受けました。研修では、市職員、社会統合副省(SSIS)普及員、地元金融機関職員等を講師として、家計管理、金融基礎知識、生業ビジネス等に係るテーマを扱いました。コーチングでは、町内会会長や有志等によるコミュニティリーダーを通じて、家計簿作成等の助言提供を行いました。
- 最貧困層が生業ビジネスを開始するためには、そのための元手資金が必要です。このため、ACTIVO モデルでは、まず貯蓄を行うことを奨励しています。併せて、市自治体等の協力により、パイロット世帯に対して生業用資産も供与されました。例えば、パン製造研修を受講した世帯に対して、かまどを供与したり、野菜栽培研修を受けた世帯に対して簡易灌漑用資材や種子を供与したりしました。



市自治体による簡易灌漑用資材供与(サン・ラファエル市)



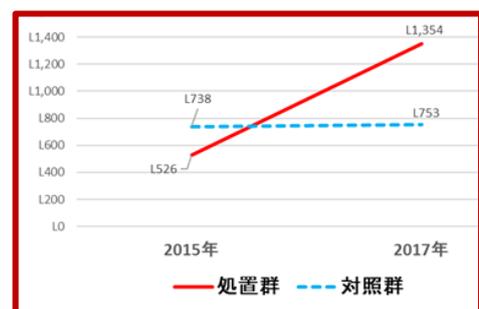
販売用軽食づくりに係る研修(テグシガルパ市)

パイロット活動エンドライン調査

パイロット世帯の口座預金額が約3倍になりました!!

ACTIVO モデルのパイロット適用効果を測定するため、ランダム化比較試験(RCT)に基づく調査を行いました。2017年6～7月、対象世帯に質問票を適用しました。結果、約1千世帯に対する同モデル適用効果として、以下が確認されました。

- 村落部では、新規口座開設、金融知識、生業活動数等において、統計的に有意な効果が観察されました。これらに係る効果量は、中程度又はやや大きなものが観察されました。費用対効果を分析すると、1ドルの支援投入に対して3ドル程度の世帯自営業所得を生み出すことが判明しました。
- 市街地では、金融知識、世帯資産額等において有意な効果が観察されました。
- 口座保有世帯における預金残高の平均値を見ると、下図の通り、パイロット世帯群(処置群)では、3倍近くに増えたのに対し、ACTIVO モデル未参加群(対照群)は横ばいのままでした。



注: ACTIVO 通信に掲載されている見解については、独立行政法人国際協力機構及びホンジュラス政府の公式見解と一致しないこともあります。